



大谷教師塾

教員養成ナビゲーター

大谷大学
教職支援センター

第135号
2025. 2. 10

教員採用試験早期化に向けて

大谷大学 教職支援センター副センター長 関口 敏美

近年、教員採用試験をめぐる状況が大きく変化しています。第一に、文部科学省の指導により一次試験の実施時期が年々早期化しています。2024年度は6月15日前後だった基準日が、2025年度は5月11日前後へと一ヶ月以上も前倒しになります。第二に、3年生受験を実施する自治体が増加しています。2023年度は10余りの自治体で実施されていましたが、2024年度は43自治体、2025年度は49自治体で実施されます(5～6頁参照)。

2024年度に実施された3年生受験の試験内容には、いくつかのパターンがあります。

一般的には、一次試験の一部(筆記試験)を3年次に受験し、翌年に残りの試験を実施する自治体が多いですが、一次試験の内容は自治体によって微妙に異なります。

滋賀県：一次試験全て(筆記(教職・専門)、小論文)を受験、翌年に二次試験を受験

兵庫県・神戸市：一次試験全て(筆記や小論文、集団面接等)を受験、翌年に二次試験を受験

京都府：出願時に受験者が一次試験内容(小論文、教職教養、専門、個人面接)を選択、翌年に一次試験の残りとして二次試験を受験

川崎市・横浜市：「3年次チャレンジ大学推薦」として筆記試験免除で二次(論文、面接等)を受験、最終合格を決める

とはいえ、3年生受験の合格率が高くなければ、従来通りに4年次に受験すればいいのではないかと考える人もいるかもしれません。3年生受験の合格率を公表している自治体もありますので、いくつか紹介してみます。

2024年度7月時点のデータですが、滋賀県37,8%、大阪府48,0%、大阪市89,3%、豊能地区52,9%(小学校のみ)、福岡県79,4%、佐賀県69,4%、北九州市58,6%、鹿児島県53,2%、愛知県57,7%、岐阜県53,4%、三重県88,1%、福井県74,0%です(※受験者・合格者数については各教育委員会HPで確認してください)。

ちなみに2024年度の大谷大学の3年生受験の受験率は、文学部・社会学部17,85%、教育学部(初等)55,32%、全体としては41,33%でした(※文学部・社会学部の教職志望者28人、教育学部初等教育コースの教職志望者47人として計算)。

実は、3年生受験はみなさんの受験機会の拡大につながるラッキーな変化です。一次試験を3年次に受験することにより、仮に3年生受験が不合格であったとしても、4年次に初めて受験するよりは一次試験対策を有利に準備することができるからです。また、川崎市・横浜

市のように、3年生受験で最終合格まで一気に獲得できるところもあります。

だからこそ、早急に教員採用試験対策のスケジュールを見直す必要があります。従来は2年生の春休みあたりから教員採用試験の準備を始める人が多かったようですが、それでは3年生受験には間に合いません。3年生受験をめざして1年生から教員採用試験の準備を始めたとしても決して早すぎることはないのです。

そこで、みなさんにお勧めしたいのは、大学で受講できる教員採用試験受験対策講座です(以下、対策講習と略記)。大谷大学ではキャリアセンターと教職支援センターが連携して教職をめざす人を支援する講座を開講しています。

小学校希望者には、3年生受験の筆記試験対策に有効な対策講習(小学校5教科と教職教養)を夏休みに集中講義形式で開講しています。2年生から受講可能で、専門教科の受験対策として、国語・社会・算数・理科・英語を重点的に勉強できます。

また、小学校、中等科の2～3年生を対象にした対策講習(教職教養)は、春休みに集中講義形式で開講しています。前半の教職教養基礎では、大学の授業でも学ぶ内容をどのように採用試験の勉強へと繋げるのか丁寧に解説し、後半は実践的な問題演習で教育原理・教育法規・教育心理・学習指導要領・教育史・教育時事など採用試験で必出の内容を解説します。

対策講習にはすべてテキスト(協同出版)も指定されています。対策講習のテキストは、教員採用試験の準備を始める際にどのテキストを選ぶかで迷っている人にはお勧めです。なぜなら何冊も問題集やテキストを使うよりも同じテキストを何度も何度も繰り返す方が身につくからです。

最後に、早めの試験対策の重要性は理解できたけれど何をどのように準備すればよいかわからないと悩んでいる人は、迷わず対策講習の受講を検討してください。個人で予備校に行くよりも時間も経費も大きく節約できます。詳しくは最新版『2025年度キャリア支援案内』で対策講習の申込期間・開講日程・受講料・テキスト代などを確認してください(大学HPでもPDF版を参照できます)。



《こんな先生になります》

(採用内定自治体：校種・教科)

《信頼される先生に》

教育学部教育学科 岡尾 茉優 (大阪市：小学校)

私は信頼される先生になることを目指します。自分のクラスの子どもたちだけでなく、他クラス、他学年の子どもたち、保護者の方々、一緒に働く教職員の方々、地域の方々から信頼されることを目指していきたいです。

そうなるために、日々の自分の行動が、誰が見た時にも恥ずかしくないように心がけます。そして小さなことでも報告、連絡、相談をして情報共有を大切にしていきます。これらを継続して周りからの信頼を得られるよう努力します。

《子どもが心を開くことのできる先生に》教育学部教育学科 西山 太陽 (京都市：小学校)

私は「子どもが心を開くことのできる先生」になります。子どもたちの中には悩みや困ったことをなかなか話せない子もいます。そんな子どもたちが「この先生なら話したい！」や「この先生なら話せる！」と思うことのできるような先生になります。また、毎年子どもたちの思い出の1ページに少しでも残るような、一人ひとりが活躍できる楽しい学級作りをしていきたいです！

《採用試験対策法》

(採用内定自治体：校種・教科)

《同じ自治体を目指す仲間と》

教育学部教育学科 大庭 有稀 (島根県：小学校)

合格の秘訣は、同じ自治体を受験する学生と一緒に対策をしたことです。同じ自治体だと試験内容も同じなので、お互いにアドバイスもしやすく協力しながら試験の傾向を掴むこともできます。もちろん、同じ自治体を受ける学生がいないという場合もあると思います。その時は、他の自治体を受験する学生と一緒に面接練習などをしたり、積極的に教職アドバイザーの方々に練習をお願いしたりすることが効果的だと思います。無理をせず自分のペースで頑張ってください！

《何度も繰り返すこと》

教育学部教育学科 田中 絢香 (福井県：小学校)

採用試験に向けて一番大事なことは、繰り返したと思います。一次試験に関しては、参考書や過去問を使って、ノートを作成したり、問題を繰り返し解いたりしました。特に、覚えたら解ける問題は絶対に落とさないよう繰り返し覚えめました。二次試験に関しては、面接、論作文ともにアドバイザーの先生方にたくさんご指導頂きながら勉強しました。面接は特に緊張しますが、大学で練習を重ねることで自分の考えがまとまったり、次第に慣れてきたりしました。

《仲間を見つけ共に頑張る》

教育学部教育学科 中西 舜佳（大阪府：小学校）

合格の最大の理由は、仲間を見つけ、共に頑張れたことです。私は教採について考えてはいても、実際に動き出すことが中々できませんでした。そんな時、同じ自治体を受ける子に「一緒にやろう」と声をかけてもらったことで3年生の終わり頃から面接と模擬授業の練習を続けることができました。また、違う自治体を受ける子の中にも声をかけ合える仲間を見つけたことで、強く心が支えられました。教採は不安なことが多いです。だからこそ、仲間と共に声をかけ合い頑張ってください。

《継続・休憩・協力》

教育学部教育学科 中野 隆希（大阪市：小学校）

試験を突破するためにまず、教採について知ることが大切である。試験内容や出題傾向、配点、試験時間など様々な情報を得ることが必要である。これについては、自分で調べたり、アドバイザーの先生に相談したりするなど、集め方は自由で、集めれば集めるほど自分のためになる。また、うわさなどに惑わされず、気になったことは自ら調べる癖をつけておくとよいです。そして、対策をする中で大切にしてほしいことは、継続・休憩・協力の3つが重要だと感じた。面接練習や過去問は継続的に行き、特に面接はいろいろな先生にみてもらい助言をもらおうと良いです。時には休憩もとりつつ友達と一緒に学ぶことも勉強になります。

《最善を尽くす》

文学部歴史学科 几 恵誓（滋賀県：高等学校 地理歴史科）

「最善を尽くす」これが採用試験合格に向けてとても大切なことだと思います。「自分には無理だ」と考えるのではなく「とりあえず後悔のないようにやれるだけのことはやってやる」という気持ちを私は意識して試験勉強に励みました。

また、教員採用試験は詰め込み勉強で挑んでも合格は厳しいです。私は3回生の1月あたりから本格的に「毎日コツコツ」を大切に試験勉強しました。毎日の努力の積み重ねが最終的には大きな力になることを実感しました。

《教職を目指す後輩の皆さんへ》

（採用内定自治体：校種・教科）

《過程が大切》

教育学部教育学科 小田 叶人（広島県広島市：小学校）

教員採用試験は“結果”だけが全てではありません。勿論、合格することも大切です。ストレートで教員になれることは嬉しいことです。でも、それより私は、採用試験に向けて取り組んだ一日一日の“過程”が何よりも大切だと思います。自分と向き合い努力し続けてきたこれまでのことは、これからの人生や日々の生活で必ず大きな力になります。採用試験後、自分自身を「よく頑張った」と褒められるように努力を続けましょう。応援しています。

《とても長い道ですが・・・》

教育学部教育学科 糟谷 朱那(横浜市：小学校)

教員採用試験合格への道はとても長く感じると思います。私は人と比べて焦ってしまったり、「自分が合格できるのか？」と不安になったりしました。しかし、自分に自信をつけるのは他人ではなく自分自身です。「毎日しているのに身につかない！」と諦めたくなる日もきっとあると思います。大丈夫です。毎日していくうちに自分の成長を感じられる瞬間が必ず来ます。体調に気をつけながら、息抜きなどメリハリをつけて取り組むことで、合格を掴みましょう！応援しています。



卒業する4年生の皆さんへ

自らの夢を大きく膨らませて、社会に歩み出そうとしている4年生の皆さん。新年度から教員や講師として教職に進む人、企業や専門職に進む人など、進路は様々ですが、決めた道を力強く歩んで行ってくれることを願います。今は、希望と不安が入り混じる気持ちでしょうが、まずはこの4月からの行動すべきことをイメージしながら、一日一日を大切にしてください。(教職アドバイザーより)



参考 【教員採用試験の主な試験科目】

教員採用試験の内容は、大きくわけて筆記試験と人物試験に分類できます。試験内容は自治体ごとに異なりますが、おおむね筆記試験が一次試験に、人物試験が二次試験に行われます。

筆記試験は、教職教養、一般教養、専門教養、小論文の4種類あります。

教職教養：生徒指導や教育関連の法律など、教員として必要な「教育に関する知識や理解を問う」分野。

一般教養：社会人として必要な基礎学力を測る分野。中学校から高校までに勉強した科目から出題されることが多い。

専門教養：志望する校種・教科に関する専門的知識を測る分野。出題科目は教科によって異なる。中学校～大学入試共通テストレベルの問題が出題される。自治体にもよるが、教職教養や一般教養よりも配点が高くなる傾向がある。

小論文：教育時事や自治体の取り組みに関するテーマに対し、自分の考えや主張を論理的に説明する文章形式の試験。論理的思考力や読解力、教師としての適性などが総合的に評価される。

人物試験は、主に面接、模擬授業、実技試験の3種類です。

面接試験：自己PRや志望動機から教職員としての適性や素質、人間性などを評価・判断する人物試験。実施形態は、受験者1人による個人面接と複数人の受験者が同時に試験を受ける集団面接(討論)の2種類。

模擬授業：教師としての指導技術や専門性を評価する人物試験。実際の授業のように、一定の時間内で指定されたテーマや教科について教えることが求められる。

実技試験：校種・教科によって異なる。例えば小学校では体育・音楽実技や中高英語科では英会話など。

【今夏の教員採用試験の1次試験開始日】

2025年2月5日時点で公表済みの自治体

5月10日	・静岡県・静岡市・浜松市・山口県
5月11日	・茨城県・長崎県
5月17日	・島根県
5月31日	・高知県
6月 7日	・鳥取県
6月14日	・岐阜県・愛知県・名古屋市・三重県・京都府・京都市・大阪府・大阪市・堺市・豊能地区 ・兵庫県・神戸市・奈良県・和歌山県
6月15日	・北海道・札幌市・滋賀県・福岡県・福岡市・北九州市・佐賀県・熊本県・熊本市・大分県 ・宮崎県・鹿児島県・沖縄県
6月28日	・長野県
7月 5日	・岡山県・岡山市
7月 6日	・栃木県・埼玉県・さいたま市・東京都・横浜市・川崎市・相模原市・新潟県・新潟市・山梨県
7月12日	・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・仙台市・山形県・福島県・広島県・広島市
7月19日	・石川県・徳島県・愛媛県・香川県

※詳細は各自治体HPでご確認ください。



教職アドバイザーはこんなことをしています！

- ① 教職や教員採用試験に関わる相談対応
- ② 教員採用試験対策練習
- ③ 学校ボランティアの紹介(主に京都市立学校)

その他、教職に関わることであればどんな些細なことでも相談に応じます。
また、以下のような講座やセミナー、説明会等を実施しています。

- ・教職学習会(1、2年生対象)
- ・小論文セミナー(2、3年生対象)
- ・願書記入説明会(2、3年生対象)
- ・教員受験対策講習直前面接(一部3年生及び4年生対象)《有料》



教職アドバイザーの在室時間(昼休み13:00~14:00は除く)

	月	火	水	木	金
須 川			12:00~17:00	12:00~17:00	12:00~17:00
桂	10:30~16:00	10:30~16:00	10:30~16:00	10:30~16:00	
美濃部	12:00~17:00		12:00~17:00		12:00~17:00
佐 藤	12:00~17:00	12:00~17:00	12:00~17:00		

アドバイザーは4号館1階の教職支援センター事務室で皆さんを待っています。教職に関わることであればどんな些細なことでも相談に応じます。遠慮なく訪ねてきてください！

新3年生、新4年生の皆さんへ 【募集要項は確認しましたか？】

教員採用試験に向けて努力を重ねている新3年生、新4年生の皆さん。試験時期の早期化、3年生受験の広がりなど、試験制度が変わりつつありますが、志望する自治体の募集要項はすでに入手したでしょうか。しっかりと読みこんで変更点等を確認することが重要です。まずは、情報収集を幅広く行い、受験に向けての土台作りを行いましょう。

次に、試験本番までの日々をどのように過ごしていくかが、大きなポイントです。残り数カ月を自分の教育観を明確にさせながら、筆記試験対策と並行して自治体に応じた論文や面接などの表現対策を積み重ねていきましょう。さらにはそうした試験対策と共に自らの人間性を育む活動も大切です。限られた時間を有効に使って計画的に進めていってください。

教職支援センターは、皆さんの夢の実現のための支援を惜しみません。センターでは大量の情報と経験豊富なアドバイザーが皆さんを待っています。気軽にセンターを訪ねてください。

**新1年生、新2年生の皆さんへ 【3年生受験がさらに広がっています】**

教員採用試験の倍率低下が危惧される中、3年生受験を可能とする自治体が、全国の3分の2を超えました。また、当初は対象が小学校だけだった自治体もその校種が増えてきています。3年生受験と言ってもその内容は様々で、変更されることもあります。早くから準備を始めることはもちろん、現状を知ること、情報をもつことが大切です。遠慮なく教職支援センターに来てアドバイザーに声をかけてください。

【今夏の教員採用試験で3年生受験が可能な自治体】（2025年2月5日時点で公表済みの自治体）

- ・北海道・札幌市・山形県・新潟県・新潟市・福島県・群馬県・栃木県・山梨県・茨城県・埼玉県
- ・さいたま市・東京都・神奈川県・横浜市・相模原市・川崎市・千葉県千葉市・岐阜県・愛知県
- ・名古屋市・富山県・石川県・福井県・三重県・滋賀県・京都府・京都市・大阪府・大阪市
- ・堺市・豊能地区・兵庫県・神戸市・奈良県・岡山県・岡山市・広島県広島市・香川県・愛媛県
- ・高知県・福岡県・北九州市・佐賀県・鹿児島県・秋田県・岩手県・徳島県・長崎県

※詳細は各自治体HPでご確認ください。

令和7年度 公立学校教員採用試験 合格者人数

校種	合格名簿 登載人数	内訳（自治体）
小学校	22人	京都市3, 滋賀県5, 大阪府1, 大阪市2, 豊能地区1 福井県1, 東京都1, 横浜市1, 静岡県1, 島根県3 広島県広島市1, 高知県1、宮城県1
中学校	3人	滋賀県2（国語科1, 社会科1）, 静岡県1（社会科）
高等学校	1人	滋賀県1（地理歴史科）
支援学校	1人	京都市1